



令和元年9月5日発行 中等新報第19号
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

2年職場体験 ～ 社会は私を必要としている ～



職場体験をおとして学んだことや働くことの意義などについてまとめた「職場体験新聞」を基に、グループで発表しました。

7月22日（月）～24日（水）の3日間、村上市内の50を超える事業所の協力を得て、2学年で職場体験を実施しました。ご支援くださった事業所の皆様、本当にありがとうございました。生徒にとっては、事前のアポ取りから事業所へ伺っての打合せと、本番前から緊張の連続だったと思います。実施後には、礼状書きや自分の体験をまとめた新聞づくりに取り組みました。「職場体験新聞」を使つての発表活動は、7月30日（火）に実施しています。以下に、掲載内容の一部を紹介します。

- ・私にとって「働く」とは、社会に貢献することだと思います。それは、ボランティアや公務員に限らないはずです。人のお世話をしたり、人の役に立つ物を作ったりすることも、社会に貢献することだと思います。仮にその仕事を誰もやらなかったりすると、必ず困る人が出てきてしまいます。つまり、働くということはすべて社会に貢献することになると考えます。
- ・私にとって働くということは、人の役に立つこと、誰かのために頑張ることだと思います。今まで私は働くということについて考えたことがなかったと思います。この職場体験をするまで、他人についてはあまり深く考えていなかったことを改めて実感しました。自分の利益を求めることは普通のことだと思います。ですが、自分だけでなく、他人に対しても利益を与えることがさらに喜びを生むことを知りました。
- ・私が思う「働く」ということは、人がつながってできているということです。臨床科で見つけたことが病気を発見する糸口だったり、薬剤部で合わせた薬が各病棟で役立ったりしていて、そう考えました。そして、人のことをよく見るということが大切だと思いました。それは、人のちょっとした変化に気づけると、コミュニケーションの始まりになったりするからです。私は、このことをふまえて、将来についてもっと学びたいと思いました。

市内各所の事業所で、今の自分にできることを精一杯試している生徒たち



新潟県立村上中等教育学校

〒958-0031 村上市学校町6番8号 TEL.0254-52-5101 FAX.0254-53-6773
HPアドレス <http://www.murakami-ss.nein.ed.jp>